

Techミーティング

鹿児島大学の研究者と対話できる「場」を定期的で開催し、産学連携のきっかけをつくることで
企業の抱える技術的な課題解決をサポートし、新しいビジネスの創出を目指します。

大学の研究をあなたのビジネスに活かしてみませんか。

《第1回》

2023年

日時

6月15日(木)

14:00~15:30

場所

mark MEIZAN 2F

ユーティリティスタジオ
(鹿児島市名山町9-15)

対象

産学連携に
興味のある事業者



定員

10名

参加費無料!

発表テーマ

バイオガスからの水素製造

PROFILE



鹿児島大学 理工学研究科
化学工学プログラム 准教授

鮫島 宗一郎 氏

鹿児島市出身。1987年九州大学大学院工学研究科応用化学専攻修了。1987年東ソー株式会社に入社。1995年鹿児島大学工学部助手を経て2001年より現職。主な研究内容としては、バイオガスからの水素製造や固体酸化物形燃料電池、セラミックス(金属複合材料)など、無機材料化学に関する基礎研究を進めている。

研究シーズの概要

これまで焼酎滓から生成されたバイオガスを用いた実験を行ってきました。植物由来のバイオガスは、二酸化炭素の排出を極力抑え温暖化ガス排出抑制につながる「カーボンニュートラル」なエネルギーとして注目されています。このバイオガスに含まれる温室効果ガスのメタンと二酸化炭素から水素を生成することができます。ただし、そのためには800℃程度の高温で反応させることが必要であり、メタンの熱分解などに課題がありました。本研究では、化学反応を促進させるために、二酸化炭素の吸着を促進し耐熱性の高い多孔質セラミックスを用いて水素を生成する方法を紹介します。こうして生成した水素を発電などに活用することでエネルギーの地産地消が可能です。下水汚泥、食品廃棄物などから再生可能エネルギーを生み出し、循環型社会を目指しませんか。

申込はこちらから



《主催》鹿児島市

《共催》鹿児島大学 南九州・南西諸島域イノベーションセンター

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/techmeeting.html>

「かごしまTechミーティング」運営事務局

(株式会社 鹿児島銀行地域支援部地域開発室内)

TEL:099-239-9718(直通) FAX:099-223-0852 E-mail:kaihatsu@ml.kagin.co.jp